



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

鹿児島一那覇定期客船観測は測定機器の調整中のため欠測。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月15日現在、92マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

鹿児島一那覇定期客船観測は測定機器の調整中。甌海峡では、平年比較で“著しく高め”となった。

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、1日のみチウオ(2kg)が2tの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マシ(70～80g)が300kg/日、スマ(2～3kg)が50kg/日、ハガツオ(2kg)が40kg/日、1日のみゴマサバ(200～300g)が1tの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でマシ(200～400g)が610kg、ウスハハギ(2kg)が210kg、ハガツオ(2kg)が170kg、マシ(200～400g)が140kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で36統がカタチイワシ、フリ、キンカミ主体に8tの入網。志布志湾南部海域では、週計でフリ、カタチイワシ、チウオ主体に5.7tの入網。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、4～7kgを5尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、3～5kgを40尾/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみ大トビを26箱/統の漁。

○その他

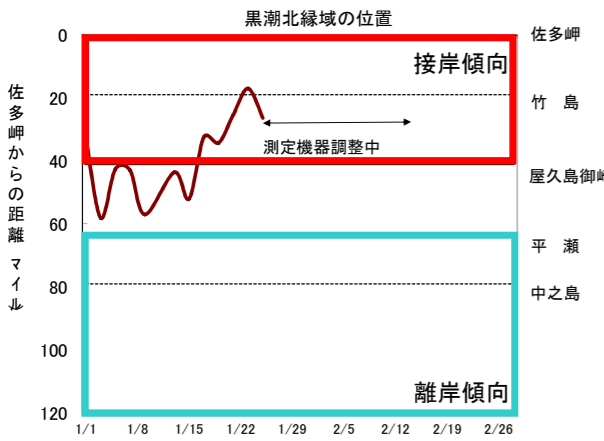
甌島海域では、曳縄で1日のみスマ(2～3kg)を100kg/隻の漁。西薩海域では、ごち網でマダイ(1～6kg)を27～60kg/隻・日、1日のみチダイ(300g)を26kg/隻の漁。一本釣りでヘダイ(1kg)を16～37kg/隻・日、マシ(200g)を6～10kg/隻・日の漁。刺網でヒラメ(0.5～4kg)を5～20尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(2kg)を200kg/隻・日の漁。刺網でヒラメ(1～6kg)を20～60尾/隻・日、マダイ(5～6kg)を10～20尾/隻・日の漁。志布志湾海域では、小型底曳網でオコノヘ(3～5kg)を15kg/隻・日、マダイ(1～3kg)を10kg/隻・日、イトヨリ(200～500g)を10kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2～10日操業でソデイカ(胴体のみ10kg)を21～141ハイ/隻の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2892報)

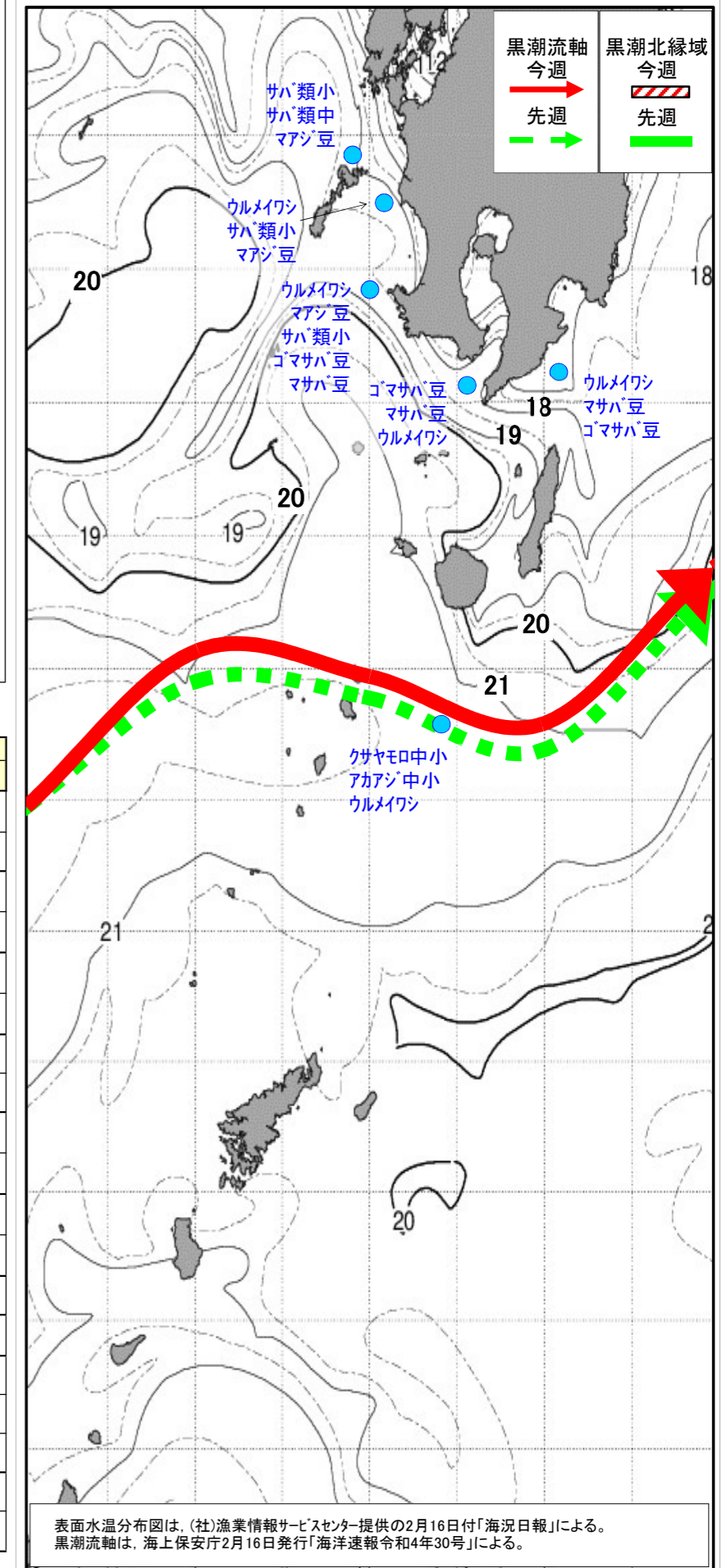
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期	
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	3	84	マシ豆31 サハ類小22 サハ類中16	28.0	4	134	1	8
		中	4	57	串木野沖 野間池沖	14.3	5	115	4	20
	枕崎	大	3	65	屋久新 野間池沖	21.7	5	93	8	530
		中	13	184	立目崎沖 野間池沖 内之浦沖	14.2	15	328	18	678
	内之浦	中	0	—		—	0	—	2	8
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	6	149		24.8	9	226	9	538	
	中	17	241		14.2	20	443	22	698	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	6	2	阿久根沖 長島	カタチイワシ95 キビナコ5	0.3	1	0.4	1	1
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	36	8		カタチイワシ24 フリ14 キンカミ13	0.2	33	6	39	35
刺網	阿久根	31	3	甌 牛深沖 阿久根沖 長島	キビナコ100	0.1	34	3	26	2
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	1	97	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	山川	海旋	0	—		—	1	752	0	—
		中	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	1	545		カツオ小96	545.0	2	1494	2	1257



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	—	—	—	—
鹿児島	—	—	—	—
佐多岬	—	—	—	—
竹島	—	—	—	—
屋久島御崎(永田岬)	—	—	—	—
中之島	—	—	—	—
笠利崎	—	—	—	—
与路島	—	—	—	—
与論	—	—	—	—
甌海峡	17.1	—	+1.4	著しく高め

鹿児島一那覇定期客船観測は測定機器の調整中
(データは水産庁「水産資源調査・評価推進委託事業」で取得)
串木野一甌定期客船観測は2/16



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月16日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁2月16日発行「海洋速報令和4年30号」による。